

令和4年12月26日

令和4年度 松山歯科衛生士専門学校
学校関係者評価委員会報告書

学校法人松山ビジネスカレッジ 松山歯科衛生士専門学校 学校関係者評価委員会は「令和4年度自己評価」結果を基に、学校関係者評価を行いました。その結果を以下のとおり報告いたします。

1. 令和4年度学校関係者評価委員会

委員	板野 正人	(一般社団法人松山市歯科医師会会長)
	唐崎 秀樹	(愛媛信用金庫 地域事業振興部推進役)
	宮津 咲良	(松山歯科衛生士専門学校 卒業生)
	西岡 深幸	(松山歯科衛生士専門学校 在校生保護者)

敬称略

教職員	松岡 由紀子	(学校法人松山ビジネスカレッジ 常務理事)
	室 利幸	(松山歯科衛生士専門学校 校長)
	岡田 善雄	(学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部長)
	重信 克也	(学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部次長)
	清水 綾	(松山歯科衛生士専門学校 歯科衛生学科 副校長)

2. 実施内容

開会、出席者紹介、校長挨拶

自己評価報告

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

質疑応答、意見交換

3. 自己評価報告に関する補足説明

<教育活動>

- ・ 3つのポリシー（卒業認定・称号授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針）に基づき、令和4年度から本校独自の新たなカリキュラムを制定し国家試験について全員受験、全員合格を目指し実践的な教育を行っている。

<学修成果>

- ・ 歯科衛生士が歯科医院等の現場で不足している状況にあり、本校も就職率は連続して100%を達成している。
- ・ 令和3年度国家試験合格率は100%を達成した。さらに介護職員初任者研修、歯科医療事務資格の合格率も100%の達成を目指している。

<学生支援>

- ・ 学生相談に対する取組みとして、公認心理師によるカウンセリングルームを設置し、就職や日常生活の中での心配ごとや不安を解消できるように取り組んでいる。

4. 学校関係者評価（意見交換、質疑応答）

（委員からの質問）

- ・ 退学率の低減と卒業生に対する支援体制について教えてほしい。

（回答）

- ・ 退学率については、2.5%程度に低減していく目標設定し、令和3年度の退学率は0.8%で減少傾向であるが、一人も退学者を出さないことを最終目標にしている。
- ・ 卒業生の再就職の相談は、メールやSNS等で対応する方法も採用しているが、学校に直接来校することも多く、個別に教職員が対応している。

（委員からの意見）

- ・ 歯科衛生士の復職については、松山歯科医師会でも積極的に取り組みしており、学校も現場の意見を歯科医師会に情報提供してほしい。
- ・ 自分も復職した経験があり、その時も学校の先生に相談した。継続して卒業生の相談相手になってほしい。
- ・ 学校のSNSを良く視聴しているが、募集等にも繋がるのもっと活用すれば良いと思う。

（回答）

- ・ SNSはオープンキャンパスに来た学生や在校生の保護者の方も良く視聴しているので引き続き情報発信していくようにする。

（委員からの質問）

- ・ 歯科衛生士以外の職業を希望する場合や国家試験に合格しなかった場合、学校はどう対応しているのか教えてほしい。

（回答）

- ・ 歯科衛生士の国家試験に不合格になった場合は、歯科医院の了承を得て歯科助手として勤務し次回の国家試験にチャレンジするケースもある。
- ・ 歯科衛生士の国家試験に合格し、本人の希望で他業種に就職する学生も稀にいるが、その場

合ほとんど自分で就職先を探している。

以上